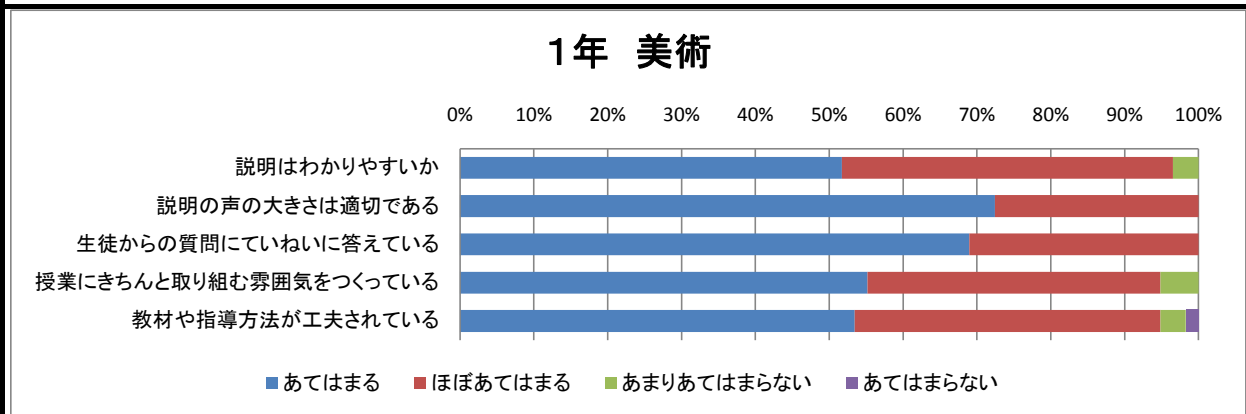


H30年度 第2学期 生徒授業評価アンケートより

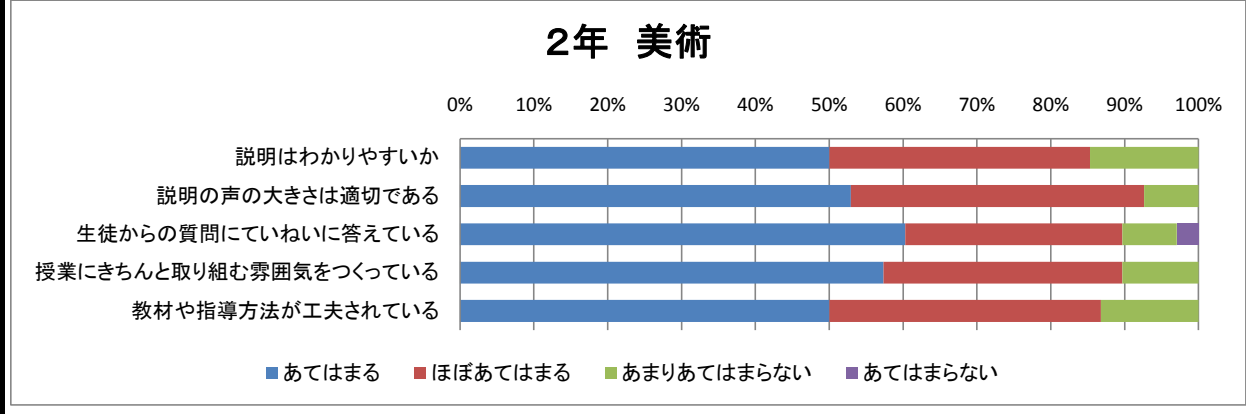
教科	美術	重点目標
		<ul style="list-style-type: none"> ・感性や想像力を働かせた、独創的で豊かな発想を育む。 ・創造的なよさや美しさを感じとり味わう(鑑賞する力)を高める。

学習指導に関する現状と課題(二学期・生徒による授業評価アンケートより)



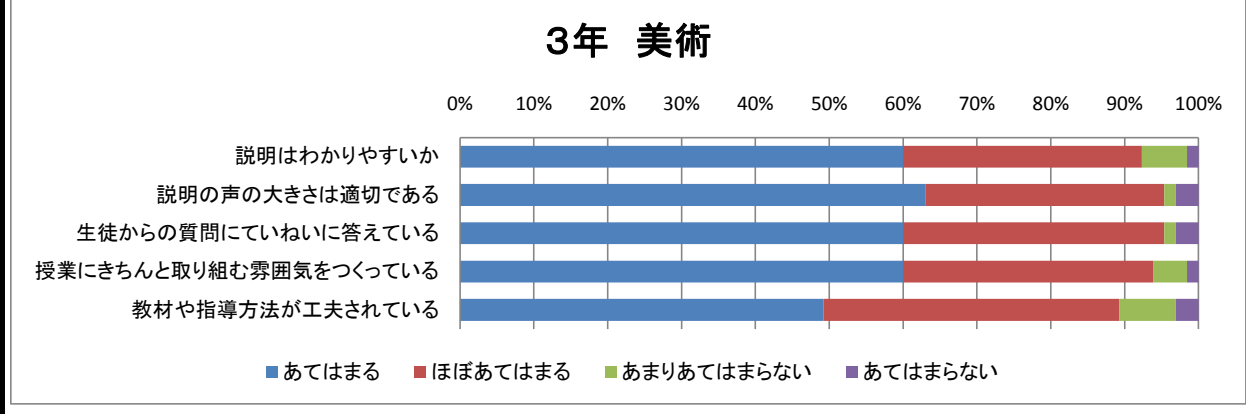
分析

全体的にあてはまるが増えた。本時の目標を毎回スモールステップで明示するようにしたことで、全体の流れの中から更に細かい自分のめあてが理解できる助けになったようである。1年生は美術を楽しむことから自分の発想を豊かに広げてほしいので、主体的に考えた工夫を肯定的にアドバイスして表現につなげている。3学期は鑑賞を通して美術への興味関心を高めるよう、鑑賞の方法を工夫していく。



分析

木彫刻の単元で、2学期のほとんどの時間を費やした長期課題であった。そこで生徒自身が流れを理解し、自分のやるべきことを考え準備、制作に取り組むことができたので達成感はあったようだ。ただ全体的にあてはまるが増えるよう、「楽しい」要素を増やしたり、交流のある鑑賞方法の工夫などを3学期に取り入れるつもりである。



分析

1学期に比べ、あてはまるが全体的に増えた。長期課題ではあったが、制作に向かう姿勢が主体的になり各自で計画的に進める意識が高まったように見受けられる。3学期は美術を愛好する心をさらに育めるよう主体性の中に遊び心や楽しむ気持ちが高まるような要素を増やした授業をしたい。